

信州大学工学部との包括連携協定における 2023 年度の支援活動  
～循環型社会の実現に向けて～

2023年3月、JX 金属商事株式会社（社長：六信 厚、以下「当社」）は、信州大学工学部と包括的連携に関する協定を締結しました<sup>注1</sup>。当社は資源循環型社会の実現に貢献することを経営の重要課題の一つと位置づけ、様々な取り組みを行っています。本包括的連携協定により、相互の資源を有効に活用し、「ソルガムを軸としたカスケード型脱炭素社会の実現」を目指した活動を推進しています。

2023年度の活動状況をご紹介します。

当社の研究支援活動

研究上の課題	当社の支援活動
農業従事者の利益確保（地域経済活性化）	ソルガム栽培による収益モデルの提案
食品販売の拡大	食品会社との提携支援、新商品開発の支援
茎葉の利用拡大	CO <sub>2</sub> フリー燃料（キノコ廃培地との混合燃料化） 直接バイオ燃料化に向けた連携先情報収集 バイオマス発電所への燃料供給の可能性調査 ソルガムと菌類スリラー固形物の用途調査
栽培インフラの拡充	農業機器開発会社の調査・選定
新規開発（医薬原料としての可能性）	市場調査

<sup>注1</sup> 協定締結におけるテーマとして、① ソルガム栽培による耕作放棄地の再生及び地域経済の活性化、② ソルガム茎葉及び農産物未利用物のバイオ燃料化（食用部分は除く）、③ ソルガムの栽培によるCO<sub>2</sub>削減及び固定化などを想定しています。

2023年度は、信州大学、信州そるがむで地域を元気にする会などが主催となり、ソルガムのことをもっと一般的に知っていただく活動を展開し、当社はその活動に賛同、参加しました。

2023年5月13日 播種会（地域交流会） 於 長野県長野市七二会 大安寺  
呼びかけに応じた農家の方など約60名が、播種会に参加しました。  
既存種、信州大学開発新品種、名古屋大学開発品種を作付けしました。



左から AKEBONO 井上代表、天野教授、國井准教授

2023年9月30日 栽培講習会（収穫）

品種「炎龍」の収穫調査では、背丈約4m、10a当たり重量7.05トでした。



2023年10月27日、28日 産業フェア in 信州 於 長野市ビッグハット

「信州そるがむで地域を元気にする会」によるソルガムを軸とした脱炭素に向けた取組みの紹介、関連商品の販売など

2024年2月17日 2023年度成果報告会・ソルガムマルシェ 於 メトロポリタン長野

基調講演 「暮らしの中での食材選び」

料理研究家 横山タカ子

対 談 「ソルガムをおいしく食べて脱炭素！」

横山タカ子 X 清沢淳史

活動紹介 「ソルガムの品種と栽培について」

長野県畜産試験場

活動紹介 「ソルガムを活用した地域資源循環社会への取組み」

中部電力(株)



成果報告会

約 300 名が聴講しました。



ソルガムマルシェ

グルテンフリーのソルガムを使った  
様々な食材が紹介されました。

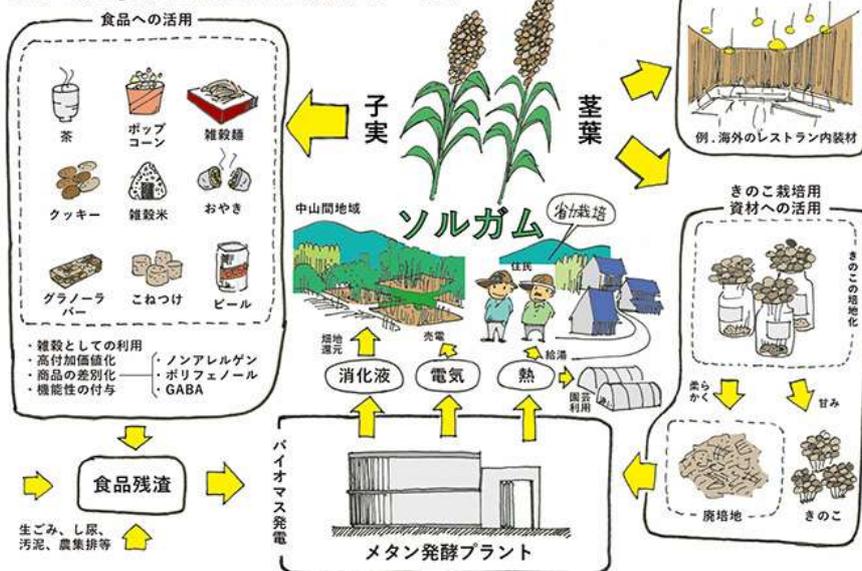
当社は、2024 年度も研究の支援活動を継続いたします。信州大学との協議において、活動の方向性として、

- 同大医学部を交えた医薬品原料への利用拡大の支援
- 大規模栽培に向けたソルガム活用方法の拡大、栽培機械化の支援
- 複合材料の可能性
- 茎葉利用の多用途化

などをあげています。

また、引き続き、「脱炭素社会への取り組み」を推進して参ります。具体的には、バイオマス発電所への燃料としての加工、サプライチェーンの構築などを検討しております。

■「ソルガム」栽培を軸にした地域循環イメージ図



提供：信州大学

本件に関するお問い合わせ先

JX 金属商事株式会社 経営企画室

電話番号 03-5368-3150